

## 第2次加東市環境基本計画 中間見直し版（素案）に対する環境審議会委員からの意見について

### 【概要】

- 1 依頼期間 令和8年1月19日（月）から令和8年2月19日（木）まで
- 2 提出件数 8件（3人）
- 3 意見の取扱い
  - A：反映（計画案を加筆・修正し計画に反映させるご意見）・・・3件
  - B：記載済（計画案に趣旨や考え方がすでに記載されているご意見）・・・0件
  - C：参考意見（今後の環境政策等に関して、参考とさせていただくご意見）・・・3件
  - D：その他（質問、意見に答えるもの）・・・2件

注：次表の「関連ページ」及び「意見等」の項目に記載されるページ番号は、第2次加東市環境基本計画 中間見直し版（素案）でのページ番号です。

番号	関連ページ	意見等	意見の取扱い	意見に対する考え方の要旨
1	—	<p>項目ごとに「実施に向けた数値目標」を設定されていますが、今回の見直しで「基準値」及び「目標値」が変更（置き換え）されたり、さらには「指標」そのものがなくなっていたり、追加されています。</p> <p>このこと自体は問題ありませんが、その前提として、当初の目標に対する現状を分析・評価し、その上で、社会情勢の変化等を考慮して、“こういった理由で基準値や目標値を変更します”、“指標を削除（追加）します”といった説明が必要ではないかと考えます。</p>	A：反映	<p>ご指摘の通り、目標や指標の見直しに当たっては、現状分析と評価に基づいた説明が重要であると認識しております。つきましては、「実現に向けた数値目標」の見直し内容と理由について「4. 第2加東環境基本計画の見直しの経過」内（素案P.93～95）に追加します。</p>
2	—	<p>各項目の「取組内容」のうち、「重点取組」と打ち出しているものがありますが、他の「取組内容」と比較しても重要度合が大きいように感じ取れない印象なのですが、「重点取組」とはどういった意味合いや位置づけなのでしょう？</p>	D：その他	<p>本計画における「重点取組」とは、他の取組よりも単に重要度が高いという意味だけではなく、各分野の中で「緊急性が高く、優先的に取り組むべき課題」や「市民・事業者・行政の協働（パートナーシップ）が特に不可欠であり、地域全体で推進すべきテーマ」として位置付けたものです。他の取組が重要でなくという意味ではございませんが、限られた資源の中で効果的な施策を推進するため、「重点取組」として選定しております。</p>
3	P.14	<p>「1 廃棄物分野」において、「基本方針」として「資源循環型のまちづくり」とありますが、記載内容では「廃棄物対策」がメインとなっており、「資源循環」の要素が少ないと思われまます。</p>	C：参考意見	<p>本計画の廃棄物分野における「資源循環型のまちづくり」は廃棄物の適正処理だけでなく、3Rの推進を一体的に捉えたものです。ご指摘の資源循環の視点については、ごみの減量化、再資源化の取組を通じて具体化しており、今後も市民・事業者の皆様と連携し、循環型社会の形成に向けて取り組んでまいります。</p>

番号	関連ページ	意見等	意見の取扱い	意見に対する考え方の要旨
4	P. 19	<p>「地球環境分野」の記載において、現在の社会状況を考慮すると基本計画策定時にはあまり言われていなかった「脱炭素」に係る取組や記載を強く押し出す方がよいのではないかと考えます。</p>	C：参考意見	<p>ご指摘のとおり、地球環境分野においては、気候変動対策（脱炭素）が喫緊の課題であると認識しております。本計画における「地球環境分野」の記載には「脱炭素社会の実現に向けた取組」が含まれており、一体的に推進することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。</p> <p>今後の計画推進にあたっては、「脱炭素」の視点をより明確に意識し、市民・事業者の皆様への情報発信や啓発活動を強化してまいります。また、次期計画策定時には、脱炭素に関する記述もしくは計画ステージに応じたキーワードを使った記述の充実を検討いたします。</p>
5	P. 28	<p>「3 自然環境分野」に係る「実現に向けた数値目標」について、現在の社会情勢を考慮すると、「水辺環境」や「生物多様性」についての目標を入れるべきではないかと考えます。</p>	C：参考意見	<p>ご指摘のとおり、近年の社会情勢において「生物多様性の保全」や「水辺環境の再生」は重要であり、注力すべき課題と認識しております。</p> <p>しかしながら、適切に評価するための「数値目標」の設定にはデータの蓄積や明確な評価基準が必要となります。そのため、今回の中間見直しでの新たな指標追加は見送りますが、次期計画策定に向けた検討課題とさせていただきます。施策の推進にあたってはご指摘の視点を十分に反映してまいります。</p>
6	P. 47	<p>P. 47・用語解説のマイクロプラスチック…海洋に投棄されたプラスチックが起源とされてきたが、現在では陸上でもプラスチックが存在するところではどこでも生成すると考えられています。海洋に存在と限定してしまう</p>	A：反映	<p>ご指摘のとおり、陸上、土壌、大気中など環境中に広く存在しており、人体の血液等からも検出されたとの報告もなされています。海に面していない本市においても、発生抑制や適正処理が重要であることから、用語解</p>

番号	関連ページ	意見等	意見の取扱い	意見に対する考え方の要旨
		<p>と海に接しない加東市とはあまり関係ないと認識されてしまいます。土壌にも、人の血液中にもマイクロプラスチックは発見されています。海水を濃縮して作る食塩中にも存在します。</p>		<p>説を見直します。</p> <p>(修正案)</p> <p>マイクロプラ (マイクロプラスチック) :  <u>大きさが直径 5mm 未満の微細なプラスチックのこと。洗顔料などに含まれるスクラブ剤や工業用原料に含まれる微細なもの (一次マイクロプラスチック) とビニール袋など大きなプラスチック製品が自然環境中で破碎・細分化されたもの (二次マイクロプラスチック) があり、海洋中や大気中などに広く存在する。人の血液に見つかったことも報告されており、食物連鎖を通じて、生態系や人体に影響を及ぼすことが懸念されている。</u></p>
7	P 26～27	<p>第 4 章 1. 環境の保全と創造に関する施策の 3 自然環境分野と 4 生活環境分野について…野生生物の内、有害鳥獣のうち大型哺乳類によるマダニ類の散布について触れられるとよいと思います。野外活動を想定した施設 (例えばやしろ鴨川の郷) の芝生地にシカやイノシシの侵入を許すと病原体を持つマダニ類をまき散らしかねません。農業被害のみならず、安全な生活環境を維持するためにもこれらの大型哺乳類を生活空間から排除しなければなりません。兵庫県はマダニが媒介する重篤な感染症 (例えば、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) や日本紅斑熱) の分布域になっています。日本紅斑熱は加東健康福祉事務所管内で発生が報告されています。SFTS</p>	A : 反映	<p>ご指摘のとおり、野生鳥獣による被害は農業被害にとどまらず、マダニ媒介感染症などの健康被害や生活環境への影響も懸念されるため、下記のとおり記載いたします。</p> <p>(修正案 : 「有害鳥獣の対策」 の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>イノシシ・シカなどの大型哺乳類によるマダニ類の散布が原因となる重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) や日本紅斑熱などの感染症リスクについて、市民への注意喚起を行います。</u></li> </ul> <p>(修正案 : 用語解説の追加)</p>

番号	関連ページ	意見等	意見の取扱い	意見に対する考え方の要旨
		<p>は加東市の周辺で発生が報告されています。</p>		<p><u>重症熱性血小板減少症候群(SFTS)：</u>  <u>マダニが媒介するウイルス性感染症。発熱、消化器症状(嘔吐・下痢)、血小板減少などが主な症状であり、致死率が高い。</u></p> <p><u>日本紅斑熱：</u>  <u>マダニが媒介するリケッチア感染症。発熱、発疹(紅斑)が主な症状であり、早期に適切な治療を行わなければ重症化することがある。</u></p>
8		<p>3Rの取組として、各地区にリサイクル回収BOXを設置してはどうか。</p>	D：その他	<p>森尾、新定、嬉野東、南山の自治会が、リサイクル回収BOXと類似の方法で、自治会独自で設置され、通年回収されています。市は「資源ごみ集団回収運動奨励金」を交付し活動を支援させていただいております。</p> <p>このような事例を市民の皆様に紹介させていただき、活動を展開し、資源ごみ回収の強化につなげてまいります。</p>